

# 令和5年度 第8回函館市医療・介護連携多職種研修会 アンケート集計結果

n=128 (回収率79.5%)

## 1. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	55	(43.0%)
・介護機関	60	(46.9%)
・その他	13	(10.2%)

## 2. 職種をお聞かせください。

・医師	4	(3.1%)
・歯科医師	3	(2.3%)
・薬剤師	16	(12.5%)
・保健師	4	(3.1%)
・看護師	17	(13.3%)
・ケアマネジャー	21	(16.4%)
・相談員	22	(17.2%)
・介護職員	22	(17.2%)
・歯科衛生士	3	(2.3%)
・栄養士	1	(0.8%)
・リハビリスタッフ	6	(4.7%)
・柔道整復師	1	(0.8%)
・マッサージ師・鍼灸師	4	(3.1%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	1	(0.8%)
・教員	0	(0.0%)
・学生	0	(0.0%)
・その他	3	(2.3%)

## 3. 今回のテーマはいかがでしたか？

・よかった	125	(97.7%)
・どちらともいえない	3	(2.3%)
・よくなかった	0	(0.0%)

## 【今回のテーマ(内容)はいかがでしたか？】

### 【医療機関】

#### <医師>

- ・シンポジストのお話はとても感銘を受けました。
- ・日々のACPの記載(らしさ)を積み重ねる。とても大切と思いました。

#### <歯科医師>

- ・歯科医師として関われる場面は、日常の療養支援と思われるが、その中でも口腔に関連する歯や口の中の疾患、入れ歯、口腔ケア、摂食嚥下などがあげられます。私も訪問歯科診療を行っていますが、治療や口腔ケアに時間をとられ患者さんやご家族とお話をする時間があまり取れていないのが今日のお話を聞いて思いました。このようなお話だけの訪問の時間もとってみたいと思います。
- ・異なった業種の方の苦勞がわかりました。

#### <薬剤師>

- ・以前病院勤務していた頃と比べて、DNARやBSCの意思表示がとてもクリアになったと思います。そのことがクールな対応にならないで体温を感じる対応になっていることに感動しました。
- ・多職種の見解を交換でき新鮮でした。
- ・現場の方々の熱量の強さを感じることができました。我々も業種としてお手伝いできる部分は積極的に連携させていただきたいと思います。
- ・改めて患者様に寄り添った行動の重要性を実感した。
- ・テーマは非常にシンプルな分さまざまな職種の方々とさまざまな目線で話し合えたのは勉強になりました。
- ・高齢者が増える中、様々な医療従事者の視点から話を聞く機会を得られて学ぶことが沢山あった。
- ・患者さん、利用者の方々の最後を見ることができて、涙してしまった。救急に関しては、あまり意識していなかったもので、勉強になりました。
- ・普段ふれる機会がないテーマで大変勉強になりました。
- ・他の職種の想いを聞く事ができてよかったです。
- ・自分達の日頃の仕事、業務の振り返りができた。明日からの参考となりました。
- ・利用者様をケアしていく上で、日頃よりチームワークを高めていく必要があります。忙しい中でもできるだけ利用者様のお話に対して耳を傾けていくことが大事だと思いました。そして、話してくれたことに対しては、耳を傾けて記録に残すことが重要だと思いました。ACPIはとろとろと躍起になるものではありません。常日頃より自然に話しやすい、話せるような関係を築いていくことが重要なことだと知りました。また、入退院支援や救急の現状についても今回もまた一つ新たな知識を得る事ができました。
- ・普段他の職種の方と接する機会が無かったので患者様の最期についてのお話が聞いて勉強になりました。
- ・普段聞くことができない多職種の方の話を聞くことが大変良かった。また参加したい。
- ・「点から線につなげる」このテーマが良かったです。
- ・DNARについて、今まで考えた事がなく今回のきっかけで重要性についても痛感した。
- ・各職種における現場での悩みや課題を知ることができました。胸を張ってアピールできることはないですが、少しでも患者・利用者のためになれることを探すことで仕事につなげていければと思います。

#### <保健師>

- ・本人視点からの講座で心に残るものとなりました。
- ・高齢者のACP…考えさせられました。現状と理想、本人の意向話し合いを重ねることが大切だと思った。
- ・3名の方の講演内容はとても学び気付きが多くありました。
- ・一口に連携といっても様々な段階、内容があり永遠のテーマとなりそうですが、回数を重ねるごとに連携の質が向上していけるとよいなと思いました。
- ・実務に従事している方が大切にしていることの在宅、医療連携の現場でお仕事をしている方々の実情や思いについて気づきを得られた。また道南における医療と在宅の連携の現在の状況について知ることができた。

#### <看護師>

- ・他職種が顔を合わせそれぞれの立場の見解が聞いて勉強になりました。
- ・映像で実際の様子を見たことで、医療関係者と患者・家族との繋がりが良くわかりやすかったです。
- ・いつも病院でのベッド調整や他施設からの転院ベッド調整をしています。転院してくる患者さんの背景があること、今日の研修で再確認することが出来ました。今日の仕事につなげていきたいです。
- ・ACPIについて以前他での研修を受けたことがあったが、現状では出来ておらず改めて必要性を思い出した。

- ・多職種連携と意見交換ができてとてもプラスになりました。それぞれの職種により考えが違い楽しかったです。
- ・救急、在宅支援、ホームでの現状を知ることができて勉強になりました。退院後の患者の姿を考えたことがなかったのに、今後かかわる時に退院後のことを考えて関わっていきたいと思いました。
- ・講演はどれも素晴らしかった。グループワークも多職種それぞれの意見があり共有できたことがよかったと思う。
- ・他職種、他施設の方々の意見が直接聞くことが出来良かった。
- ・同じ職種として井上さんのお話は興味深かったです。院内連携のお話も聞きたかったです。
- ・他の職種の方々の現状を知れたこと、ACPの普及の必要性を再確認したこと。
- ・シンポジストの方々のお話がとてもわかりやすく感動しました。病院で働いているので在宅の楽しさ、苦しさ、悩み、喜びなど薄い気がして。今日はその辺りがすごく学べて新鮮で身になりました。
- ・救急場面でのACPの話をする難しさや大変さが理解出来ました。看護師として普段からの患者さんとの関わり方などを振り返ることができました。入退院調整NSとしての大変さ、立上げの話にはとても共感できる部分がありました。新しいセクションを立ち上げる時まず院内に理解してもらわなければならない大変さ…難しいですよ。らしさの動画は号泣です。その人に寄り添うとはいつも普段の自分がどうなのか？背筋が伸びる思いです。
- ・数年前まで在宅看取りは敷居が高いと感じていたが、この様な多職種で学べる機会、各職種の理解が深まり在宅（施設）で過ごす方が増え、それぞれが思いを叶える為に取り組んでいる事に純粋に感動しました。

#### < 歯科衛生士 >

- ・こんなに心に響いたセミナーは初めてです。必ずだれにも訪れる「死」を見据えて「今何を専門家としてすべきか・できるのか」を改めて考える事が出来た1日でした。また次に参加しようと強く思いました。
- ・ACPもっとみんなで真剣に考えなくてはいけないテーマであることを改めて確認しました。

#### < リハビリスタッフ >

- ・訪問分野に勤めてまだ年数も浅い中で在宅での課題や皆様の関りを知れたことは大変勉強になりました。また在宅医療や自宅での生活継続の重要性についても再認識することができました。
- ・講演、ディスカッションを通して、他職種の目線、大切にしていることを学ぶことができました。
- ・現場での課題や疑問に対するヒントが得られて良かった。
- ・ディスカッションの重要性を感じられた。
- ・数年ぶりでしたが、対面で行えたことに大きな収穫がありました。
- ・各立場からの視点の意見が聞けて良かった。
- ・日頃から患者様の思いや不安にアンテナを張り自分だけでなくケアマネなどチームに報告する重要性を再認識しました。

#### < 柔道整復師 >

- ・本人の気持ち、想い、意見を聞くことの大切さを感じました。業務上、かかわりを持つ事はあまりないが(看取り)、多職種の方につなぐことの大切さを感じました。

#### < 鍼灸・マッサージ師 >

- ・改めて共感するだけでなく、行動力に感動しました。なかなかそこにはやはり1人でやるのではなく共有する仲間が大切だと思います。ACP, DNARは変化するという頭でお話を聞かなければと再認識しました。
- ・シンポジストの皆さんのお話で気づきができ、グループワークでより自分でできることを考えることができました。
- ・普段の自らの職域以外のことはわからないことが多く、今回は特に救急医療の現場の声を聞くことは貴重な機会であり救急搬送の手配をしたら自分にやれる事はないと感じていました。ですが、DNARに関して微力ながら自分にもきっかけになる会話が生じる可能性があると感じていました。その他、他の職種の方の悩みや情熱に触れることができ、とても良い勉強になりました。
- ・自分の職種は比較的長い時間患者さんと過ごすので今日学んだ内容を少しでもお話して考えていきたいと思えます。

## 【介護機関】

### <ケアマネジャー>

- ・多職種意見が近くで聞けて良かったです。特に救急医療についてのお話は勉強になりました。
- ・ACPの重要視を再認識しました。
- ・「振り返り」と「前向き」。この気持ちの切り替えが今後の仕事継続につながると自分は学習しました。
- ・3名のシンポジストの体験談や取り組みについて深く知る機会が得られたのでとても良かったです。
- ・多職種連携の研修は引き続きやってください。
- ・各職種からの考え方やビジョンを知れてよかった。それぞれが適切に仕事を全うすることでもっと良くなると思ったが、実践実技へのステップを重ねることの難しさも痛感しました。
- ・本人、家族の想いの確認の大切さがよくわかったが家族も本気で考えていない。本人も家族にまかしていると話をそらされる。だけど本当に「こうなったらどうする」は必要だなと考えさせられた。
- ・各々の立場目線からの声が聴けて良かった。
- ・ACPの大切さを感じたと同時にDNARを自分としては決めていた(子ども、長男、次男同席している時に伝えている。)
- ・利用者様にはほとんど聞いていないのが現状。今後は機会をみて聞く必要があると感じた。それも何度でも。
- ・「点から線につながろう」というテーマでどのような感じなのか不安でしたが、各発表を聞いて在宅、医療、施設でもその人それぞれを見て関わる大切さを改めて感じました。
- ・普段係ることのできない職種の方と意見交換できたのが良かった。病院の行っている取り組みが知れたので事業所間で共有し、今後の業務に活かしていきたい。
- ・救急の実態、病院の対応の大変さを知る機会がこれまでなかったので大変勉強になりました。ACP人生会議にとらわれず、日頃からケースの気持ち、思いを聞いて関係者や家族と共有することが大切だと感じました。
- ・身近な話題であり、とても難しく繊細なことであるので多職種でディスカッション出来たのは良い機会だった。医療面からのお話を伺うことも出来て良かった。
- ・小規模の事例、大変感動いたしました。動画を通して病院とのやりとり、利用者さんを最後まで主人公とし、見えない所で大変なことがたくさんあったと思います。お疲れさまでした。
- ・3人のシンポジストの方のお話とても良かったです。武山先生のお話はとても参考になりましたし、井上さん・波並さんのお話はとても興味深く聞かせて頂きました。井上さんのお父様のお話、波並さんのお話とても感動しました。
- ・これからもそれぞれの職種が学びになる機会をいただけたらと思います。
- ・それぞれの3つの発表で改めて単純に本時(本人、サービス事業所など)を想う気持ちを大切にすることがチームとして1番なのだと思います。できる事、できない事はあるけれどもまずは聞いて検討してみる事、方向性をみんなで確認していきたいです。

### <相談員>

- ・3名の講義が大変学びが多かった。グループワークも楽しく交流できる機会となった。
- ・もう少し少人数、小規模でグループワークを行い他職種連携が行える時間ができれば良いと思う。
- ・支援者との情報共有を大切に、医療・介護と連携しながらの支援ができる長く希望する生活ができると思います。
- ・らしさの取組に感動しました。自分もその一員として関わっていきたいと思います。
- ・自分の働いている所でも多職種協働で行っていききたい。
- ・それぞれの施設、病院の違い役割を理解出来たしもっと理解すべきだった。
- ・高齢者救急医療の現状が聞けて勉強になりました。ACPもこれからの課題として行っていききたい。常に利用者さんの思いなどを家族に代弁者として伝えていけたらと思います。
- ・多職種の方の意見やACPの現状、看取りの現状を知ることができ勉強になりました。
- ・ACPを自然にとれる環境をつくっていききたいと思いました。また、それを活用出来る仕組みをつくりたいです。
- ・救急、退院、施設(在宅)の流れで展開が分かりやすく良かったです。
- ・登壇者によるテーマがそれぞれの視点、専門性があり非常に良かったと思います。
- ・様々な業種の方と話をすることができて良かったです。シンポジストの皆さんの話も参考になりました。
- ・本人の意思決定に寄り添うために、多職種と連携することの大切さを改めて学ぶことができました。明日から利用者の人生が豊かになるような支援ができるように努力したいと思います。
- ・日々の業務を振り返る機会となりました。患者さんの思いを代弁すること、思いを吸い上げること、思いを繋ぐこと等々大事と思っていながらも病院という組織で働く中でつい忘れてしまうことがあるなあと思いました。初心忘れず月曜日からまた頑張ります。

- ・救急のDrのお話はなかなか伺うことができないのでよいと思った。介護の現場の方は、命に関わる判断をせざるといけない時にとっても不安な気持ちになると思います。情報はとても貴重なもので知識が増えると正しい判断ができるようになると思いました。
- ・日々の業務内容について見直すとてもいい機会になった研修会でした。明日から活用していきたいと思い
- ・多職種が参加しやすいテーマでしたが、それだけに枠が少し広がったと思う。もうちょっと絞ることができるように良いと思いました。

### <介護職員>

- ・その人らしさという生活。誰もが望んでいる生活。私たちに何が出来るのかを考えれることが大事だと改めて思いました。
- ・発表の方たちの内容が現在の私の勤める施設とリンクするところがあり考えさせ、施設へ持ち帰り共有、話し合いをしたいと思います。職員の考え積極性もあります。上に立つ立場のリーダーシップが大きい様になります。お互いの職員同士の想いを共有し合うのが大切であると思います。
- ・「らしさ」さんのSNSを見ていて、どんな施設か知りたかったので話を聞いてよかった。自宅に勝るものはないと思うが、自宅により近い、家族に近い存在になりたいなと思った。
- ・実体験に基づいた内容だったのでとても分かりやすかったです。
- ・3つの職種の方たちの発表とても良かったです。特に「らしさ七重浜」さんのお話はとても考えさせられました。私も利用者様の心の声に耳を傾け情報を皆で共有し思いに答えてさしあげれる介護員になっていきます。
- ・医療職のことはすべて受け入れることはできない。参考になるほどにすぎない。
- ・多職種の話を聞くことができ、とても勉強になりました。利用者さん、家族との話をもっとしていきたいと思えます。
- ・多職種の方とのグループワークは自分の知らない話等も聞いてとても勉強になりました。
- ・救急現場の医師の話を聞いて良かったです。研修の場で意見が聞いてよかった。
- ・他施設、他職種の方とのグループワーク、話を聞いたことはとても良かったです。連携は大切だと思います。今後、今回でのことを職員で共有していきたいと思えます。
- ・他職の目線など色々聞けてためになった。
- ・色々な立場からの関り、想いを聞くことができてよかった。点から線にすることの大切さも知ることができ学びの多い研修で良かったです。
- ・3つとも興味深く良い話を聞くことができました。ありがとうございました。
- ・他職種の方達の話を聞いて、現状を聞いて良かった。自分は介護現場なので「らしさ」の話を聞いて良かった。
- ・普段の仕事で関われない職種の方々と色々な意見交換ができて貴重な機会でした。
- ・想い、つながり、家族etc。身近にあることがとても大切だと学べた。
- ・ディスカッションの時間に到着したので内容がよくわかりませんでした。
- ・それぞれの取組、多職種での意見交換とても貴重な時間となりました。グループワークは、色々なお話を聞くことができ時間が足りないくらいでした。ACP…。今注目されてるテーマでもありみんなで考える機会となり良かったです。

### <施設長>

- ・現在施設でも看取りに取り組んでいたのもとても参考になり、学ぶこともたくさんありました。ありがとうございました。

### <事務員>

- ・日頃、患者さんや利用者さんと接しているわけではないのですが、専門職の皆さんが日頃どのようにして本人の意向を確認した対応をしているのか、好事例を学ぶことができ良かったです。(登壇者の方の事例で涙しました)まだまだ一般の方たちへACP、人生会議の普及啓発が進んでいないという課題もたくさんありますが、今後もこういった取り組みを続けて少しずつでも地域に広めていくことが大事だと改めて感じました。

## 【今後どのような内容の研修会を希望されますか？】

### 【医療機関】

#### <薬剤師>

- ・ 同様のケーススタディでよいと思います。
- ・ 困ったケースなどざっくばらんに相談できる場が欲しいです。
- ・ 今回のようにどの職種の間も関わりやすく意見を出しやすいもので少々楽しい研修会になると思います。
- ・ 会議に出ている方は多職種連携の大切さを理解していると思うが、実際理解して実践する方は少ないと思う。そこでどうしたらよいかの考える研修もしていただきたいです。書いていながら難しいだろうと考えております(笑)
- ・ 多職種の連携の具体例など。
- ・ 今後は看取り、緩和ケアに対するテーマのお話を聞いてみたいです。
- ・ 多職種連携に関する研修会をお願いしたいです。
- ・ 久しぶりのリアルな研修会で意見交換ができよかったです。内容は思い浮かびませんが今後も続けて頂きたいです。
- ・ 現場でのリアルな悩みお改善の糸口などをもってディスカッションできていければと思います。

#### <保健師>

- ・ 看取り。協力していただけるDrの声が知りたい。
- ・ 今回のように集合研修を希望します。
- ・ 地域の中で先駆的に取り組まれているところのお話も聞いてみたいです。
- ・ 支援事例の報告等。

#### <看護師>

- ・ 今後もこの様な機会があると良いです。

#### <歯科衛生士>

- ・ 様々なケースの多職種連携の好事例を知りたい。施設の種類を詳しく知りたい。

#### <リハビリスタッフ>

- ・ 社会資源の他ボランティア活動など高齢者が役割をもって参加できる活動を知りたいです。
- ・ 現場のリアルな悩み、課題を話すことができるような研修会。
- ・ 在宅に関する事はいつも様々なテーマを準備していただき、いつも新鮮さを感じながら参加しています。特定の希望はないものの連携に関するテーマであれば期待して参加したいです。

#### <鍼灸・マッサージ師>

- ・ 今日初めての参加でしたが、まだまだ知らない職種の人達の活動が知りたいです。
- ・ 具体的なものではないですが、他の職種の方の仕事や悩み等知る機会がまたあると自分の仕事の深みが増すように感じております。

## 【介護機関】

### <ケアマネジャー>

- ・この度の様に多職種での研修は知識の拡大につながると考えました。継続してください。
- ・同様に多職種連携に関する研修会を希望します。
- ・多職種連携の継続。
- ・今回のような内容は今後も続けて頂けるとありがたい。
- ・今回のように対面での研修ができるよう希望します。
- ・具体的な連携に向けて取り組み。連携の妨げになっていることの解決。
- ・それぞれの職種の立場から架空ケースに対する支援についての共有。
- ・家族なし、生保の利用者様。入院するのも保証人なく大変でした。どうにかならないか。
- ・多職種で事例検討。

### <相談員>

- ・他職種との連携が活発に行える研修の希望。
- ・少人数のグループワーク参加者全員の話を知りたい。
- ・今何が起きているか最新の情報を聞きたい。
- ・医療側が介護側に思うこと。介護側が医療側に思うこと。それぞれの思いを共感したい。
- ・また多職種の方の現状についてお話できると勉強になると感じました。
- ・グループワークをすることで普段関わる機会の少ない職種の方とお話出来ました。今後もこういった機会があると嬉しいです。
- ・今回のように講演、グループワークで座学+交流が出来るのが良いと思います。
- ・より具体的なACPIにかかわる内容、事例など通して学びたい。
- ・今回のような多職種連携ができるような研修があったらと思っています。よろしくお願いします。
- ・コロナ禍が一旦収まって(?)、また何十年後かにまた起きるのかわかりませんが各々の振り返りを伺いたい。

### <介護職員>

- ・今日の様な取り組み発表があるとわかりやすい。他職種と共有できる内容のもの、情報交換できる内容のものをお願いしたいです。
- ・また今回のような研修にしてほしい。
- ・今後は介護に関係する職種のみでのこのような研修会があると嬉しいです。
- ・職場の連携。
- ・色々な立場で、こんなことをしてほしい、こんな支援あるよ！等知れるといいなと思いました。
- ・チームワーク、介護現場の現状。
- ・もう一度同じような研修を希望します。
- ・またぜひ参加したいです。
- ・多職種の連携の研修、テーマは何でもいいです。
- ・医療の研修をしてほしい。

### <事務員>

- ・日常の療養支援、入退院支援、急変時、看取りの4場面のどこに需要があるのか今回のアンケート調査から分析して、そこからテーマを探っていただくのもいいかと思います。(いつもお忙しい中、センターの皆さんには様々な取り組みを行っていただき、本当にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。)

## 【その他、ご意見・ご質問等がございましたらご記入ください】

### 【医療機関】

#### <歯科医師>

- ・この大規模研修会は普段はお話することのない多職種の方と直接お話できて参加できてよかったと思うのですが、その場限りの関係でその後業務上偶然の出会いでもなければ繋がらないのが実際です(これは毎年だからかもしれませんが…)この研修会を通して実際に連携することができた事例、業務がうまくいった事例などがあれば聞いてみたいところです。

#### <薬剤師>

- ・より多くの医師の参加を望みます。
- ・次回も参加します。
- ・この度はこのような多職種の顔が直接見ることができる所での研修の企画・開催ありがとうございました。今後も積極的に参加したいと思います。
- ・とてもよい勉強になりました。

#### <保健師>

- ・また出席したいです。

#### <看護師>

- ・映像に涙することが多かった。患者、家族、医療側で出来ることを再確認し考えるきっかけが出来てよかった。
- ・救急搬送をタクシー代わりに使わざる得ないのだとしたら、それに代わる介護タクシー(24時間対応の交通機関)はあるのでしょうか？

#### <ケアマネジャー>

- ・市の方の参加もあるといいのかなと思います。医療・介護・函館市で考えなければならない事もあるかと。
- ・今後ともよろしくお願いします。
- ・いろんな職種の方と話が出来、おもしろかったです。立場の中からの考え方があり、大変参考になりました。
- ・参加して良かった。良い役に立つ情報を得れた。
- ・講演は本人の想いをとても大切にされていたので泣きました。
- ・ありがとうございました。コロナ前ぶりに久しぶりに参加できて良かったです。
- ・救急車呼んだ方がいい？と利用者さんに聞かれました。利用者さんも迷う場面が多くあるようです。わかりやすく、ハッキリと「こんな時、呼ぼう」と伝えたいのですが…。
- ・運営ありがとうございました。

#### <相談員>

- ・会場により限界があると思いますが発表者に背を向けてしまう座席があり、少し聴きづらさがありました。
- ・対面研修とても良かったです。
- ・違う職種の方からのご意見が聞くことができ、違う視点からの考えを伺うことができ、意見交換としての場として参加する機会の重要性を感じた。
- ・ご準備お疲れ様でした。ありがとうございました。

#### <介護職員>

- ・医療のことを知る機会は結構あるので介護のことを知る機会がほしい。
- ・大変勉強になりました。普段関りのない職種の方たちと話し合えて良かったです。ありがとうございました。
- ・とてもよい意見が聞けました。ありがとうございました。
- ・普段あまり関われない職種の方々と交流出来、有意義な時間を過ごすことが出来満足しました。
- ・研修にどんどん参加していきたいと思いました。
- ・今日の研修会とても良かったです。
- ・今日はこのような研修会を開催して頂き、本当にありがとうございました。研修会を通して、仕事の仕方、自分の職場など改めて考えるきっかけとなりました。またぜひ参加したいです。

#### <歯科衛生士>

- ・4年ぶりの集合開催で沢山の人の人に来て嬉しかったです。

#### <リハビリスタッフ>

- ・大変勉強になりました。
- ・研修会頻度が増えると、より学べるので嬉しいなと思いました。

### <救命救急士>

- ・ 貴重な機会に参加させていただきありがとうございました。

### <事務員>

改めて今回の研修会の運営などお疲れ様でした！！そして本当にありがとうございました。全くお手伝いできずすみません。コロナ禍で4年ぶり？5年ぶり？で皆さんが集まることができたとのことで、グループワークの中でも「みんなと顔を合わせたくて今回参加したんだ～」という声も聞かれました。本当にこのような規模の形で研修をやっていただけて参加することができてよかったです。事務職だから、グループワークに参加するのは緊張するなと思っていた気持ちもあったのですが、とても楽しく皆さんとお話することができました。本当にありがとうございました。

### <その他>

- ・ 資料が小さいと思います。データは配布でもいいのでは？